

ステーブルコイン市場向け 「統合品質保証基盤ソリューション」提供開始 ～暗号資産やブロックチェーン技術への品質保証実績を活かし、市場拡大～

ソフトウェアの品質向上支援サービスを提供する株式会社ベリサーブ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：嶋原忠大、以下 ベリサーブ）は、ステーブルコインやトークン化預金など、ブロックチェーンを活用したデジタルマネーによる決済・送金サービスの拡大を見据え、主に暗号資産交換業者、ブロックチェーン基盤・システム開発事業者を対象に、ステーブルコイン市場向け「統合品質保証基盤ソリューション」を2026年10月16日から提供開始します。

本ソリューションは、金融・暗号資産領域で培ったテストおよびサイバーセキュリティの知見と、生成AIを活用したテスト設計・結果分析の効率化技術を組み合わせ、システム開発の上流工程から運用後の継続的な改善までを支援する品質保証基盤を構築します。これにより、システム品質の向上とテスト業務の効率化を図ります。

■背景

国際送金や企業間決済では、ステーブルコインやトークン化預金など、ブロックチェーンを活用した新たな決済・送金基盤の構築が進んでいます。国際銀行間通信協会（SWIFT）も、複数の銀行のトークン化預金を接続し、24時間365日の即時国際送金を目指す試験運用を開始しており、金融取引の迅速化やコスト削減への期待が高まっています。

一方、決済・送金インフラの高度化や事業者間連携の拡大に伴い、仕様の整合性やテスト、コンプライアンスなど、多面的な観点から品質を確保することが重要になっています。しかし、暗号資産・ステーブルコイン領域では、品質保証プロセスの標準化やドメイン特有の品質管理ノウハウが十分に蓄積されておらず、仕様不整合やテスト観点の不足、コンプライアンス観点の見落としなどが課題となっています。今後、決済・送金インフラとしての活用が進む中、こうした品質課題がサービス停止や誤送金、顧客資産や社会的信頼、ひいては事業継続にも影響を及ぼす可能性があります。また、ステーブルコインに関する制度整備※1が進む他、フロンティアAIによる脅威の変化※2など、事業環境も変化しています。こうした中、各事業者にとって法令・業務要件を正確に実装し、継続的に検証・改善できる品質保証基盤の構築が重要になっています。

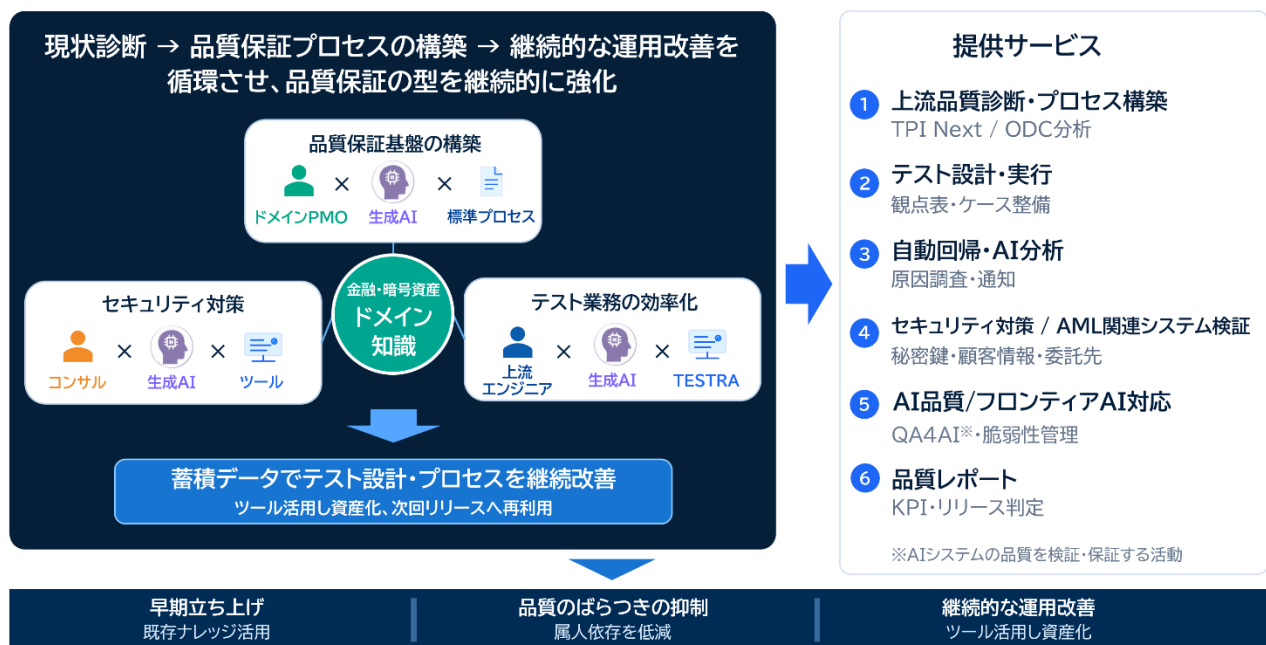
こうしたニーズに対応するため、ベリサーブは金融・暗号資産領域で培った品質保証の知見を基に、システム開発の上流工程からシステム運用後の継続的な改善まで対応し、システム品質の向上とテスト業務の効率化を図るソリューションを提供します。

※1 金融庁「『電子決済手段等取引業者に関する内閣府令等の一部を改正する内閣府令』等の公布及びパブリックコメントの結果等について」（2026年5月19日、<https://www.fsa.go.jp/news/r7/sonota/20260519/20260519.html>）

※2 金融庁「『フロンティアAIによる脅威変化を踏まえた金融機関等の短期的な対応』に係る要請について」（2026年5月22日、<https://www.fsa.go.jp/news/r7/sonota/20260522-5/20260522.html>）

■概要

本ソリューションは、当社が開発したAIテスト設計エージェント「TESTRA※3」、生成AI、金融・暗号資産領域で培った業務・テストの知見を組み合わせ、現状診断から品質保証プロセスの構築、継続的な運用改善までを支援します。これにより、品質保証基盤の構築、テスト業務の効率化、お客様システムのセキュリティ対策を実現します（図）。



図：ソリューション概要

1. 現状診断

TPI Next®※4を活用したテストプロセス診断や、過去に発生した不具合のODC分析※5などを通じて、品質上の課題や改善の優先順位を明確にします。

2. 品質保証プロセスの構築

診断結果に基づき、各部門にまたがる開発プロセスを整理すると共に、品質保証プロセスの標準化・定着を進め、継続的に品質を確保できる品質保証基盤を早期に立ち上げます。また、「TESTRA」や生成AIを活用したテスト設計・実行に加え、自動リグレーションテスト※6やAIによる分析を活用し、テスト業務の効率化とテスト品質のばらつきの抑制を図ります。さらに、セキュリティ対策、AML関連システムの検証※7、AIを活用したシステムの品質検証、フロンティアAIによる脅威への対応など、多面的な観点から品質を確保します。

3. 継続的な運用改善

KPI（重要業績評価指標）やテスト結果などに基づいて品質を分析・評価しレポートすることで、継続的な運用改善につなげます。また、暗号資産特有の取引シナリオやテスト観点のノウハウを蓄積・再利用することで、品質保証の属人化を抑制すると共に、テスト設計や品質保証基盤を継続的に改善します。

※3 AIテスト設計エージェント「TESTRA」（<https://www.veriserve.co.jp/service/detail/testra.html>）

※4 オランダのSogeti社が開発した、ソフトウェアテストのプロセス成熟度を評価し、改善するためのモデルのこと。

※5 ソフトウェアの不具合を複数の直交する属性で分類し、定量的に分析する手法のこと。

※6 プログラムの修正や機能の追加によって、既存機能に不具合が生じていないかを確認するテスト手法のこと。

※7 金融機関や暗号資産交換業者、資金移動業者などが構築しているAML（アンチ・マネー・ロンダリング）/CFT態勢（テロ資金供与対策態勢）が、リスクに対して適切に機能しているかを定期的に確認・評価するプロセスのこと。

■導入効果（支援事例）

当社が暗号資産取引所を支援した事例では、生成AIの活用によりテストの実行時間を人が実行する場合と比べ33%削減（1日当たり）、失敗結果の確認・原因調査に要する作業時間も90%削減（1日当たり）しています。

■株式会社ベリサーブについて

設立：2001年7月24日

代表取締役社長：嶋原 忠大

本社：東京都千代田区神田三崎町3-1-16 神保町北東急ビル

事業内容：ソフトウェア事業

1. ソフトウェアテスト・品質関連事業
2. サイバーセキュリティ関連事業

- 3. コンサルティング関連事業
- 4. ソフトウェア開発関連事業
- 5. その他事業

URL : <https://www.veriserve.co.jp/>

【本ソリューションに関するお問い合わせ先】

<https://www.veriserve.co.jp/contact/>

【リリースに関するお問い合わせ先】

広報部 太田、三宅

TEL : 050-3640-8194

E-mail : press@veriserve.co.jp

※掲載されている会社名、製品名、サービス名は、当社または各社の商標もしくは登録商標です。